

わがまち歴史探訪、足もとの文化遺産への誘い ミュージアム都留からのお知らせ

開催中！

ミュージアム都留 夏休み企画

『きて みて まなぶ 昔のくらし』展
昔の人々の暮らしについて、今との違いや、今のようないろんな便利さがない代わりに、どのような工夫をしていたのか、などについて考えてみてください。

会期 9月5日(日)まで

◎夏休み理科自由研究相談
日時 8月6日(金)
9時30分～12時、13時30分～16時
※事前申し込みが必要です。

◎夏休みチャレンジ教室開催！

◎変身！むかしの服を着てみよう！
～弥生時代から江戸の町人まで～
日時 8月7日(土) 10時～15時30分

◎ミニチュア八朔屋台をつくらう！
日時 8月15日(日) 13時30分～

定員 20人
費用 200円(材料費)

※事前申し込みが必要です

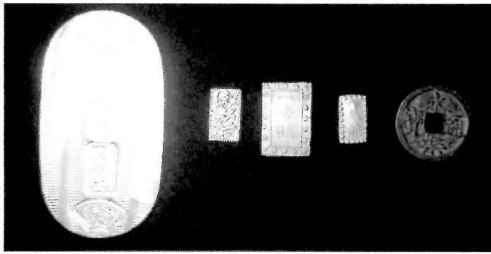
◎夏休み工作教室

会期 8月24日(火)まで
時間 9時～16時30分
費用 200円～350円

◎のびのび興譲館作品展示
会期 8月24日(火)まで

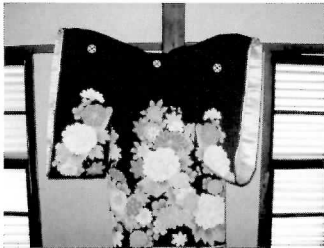
◎八朔祭屋台お囃子演奏会
日時 8月29日(日)

第1回 11時～ 第2回 13時30分～
演奏 新町屋台保存会



■(左上)江戸時代のさまざまなお金。■(上)旧石器時代の石器。約3万年前のものです。

■(左)郡内織の着物です。



レポート 勝山城の調査を終えて

—本丸南西調査編—

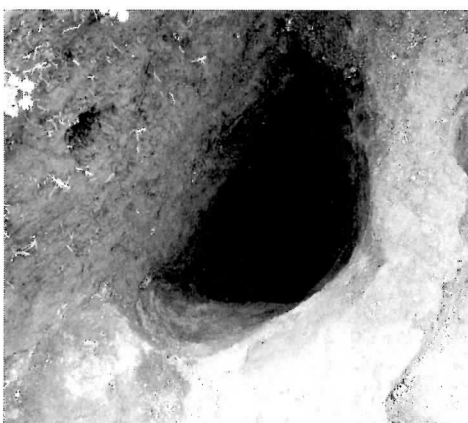
本丸は南西の土盛と平場の北に試掘坑を設定して調査を実施しました。今回は本丸の南西部分の調査成果について説明をしたいと思えます。調査地点は東照宮の脇にあたり、平場でなく不自然に盛り上がったおり、いくつかの絵図面では建物が描かれています。そのことから、檜台の跡ではないかと考えられました。

レポート
調査の結果、南西の土盛は規則正しく交互に異なる種類の土を盛って人工的に構築されたものであることが明らかになりました。土盛内からは、溶岩や凝灰岩の石列が三段に分かれ確認されており、地固めをしながら土盛を構築したものと考えられ

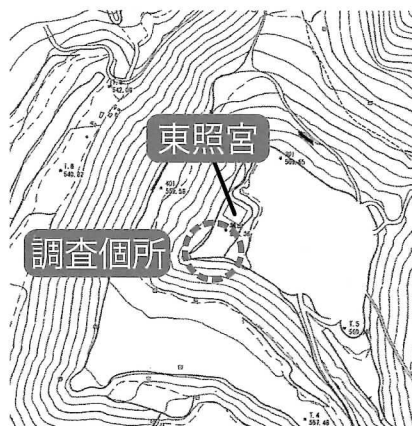
ます。柱穴が数基確認されたことや、5寸(約15cm)の釘が2本確認されたことから建造物が存在した可能性が高くなりました。高く土を盛つて、その上に建物を建てていることから、調査地点には檜が存在した可能性が考えられます。遺物は釘の他に、寛永通宝などの銭貨や陶磁器類の破片が確認されています。



■出土した釘



■発見された柱穴



■調査個所